

# いちき串木野市立川上小学校

『2学期が終わり、もうすぐ冬休みです。』

校長 池田伸一

『大根引き 大根で道を 教えけり』 小林 一茶

大根を引き抜いている農夫が、道を探ねられて、大根で方角を教えているというほのぼのとした俳句です。



本校の4年生が総合の時間に育てた大根も大収穫だったようです。収穫するまでに、草取りや虫取り等大根作りでいろんな勉強をしたことを、目を輝かせて教えてくれました。

長かった2学期ももうすぐ終わります。どの子どもも元気に登校できました。そして、教室での学習だけでなく行事等を通して多くのことを学んだ2学期になりました。ご支援、ご協力をありがとうございました。

## 〈伝統的な行事や地域文化を意識する冬休みに〉

さて、先日、外国出身の英語支援の先生（ALT）が本校に来られたときのことで。職員室に置かれていた箱に入った鏡餅を先生が興味深げに見ていました。そこで英語で、「鏡餅」、「ダイダイ」の説明を通じたかどうかは分かりませんが、一生懸命しました。加えて、「門松」や「お年玉」、「お雑煮」等正月前後の伝統行事を私の稚拙な英語力で教えようとしたものですから、大変なことになりました。特に、ALTの先生のなぜ？どうして？の質問に答えることが難しかったです（例えば、「どうして、餅を置くのか？」「門松の意味は？」「それをどうやって説明するか？」「文化の違いもあるし分かってもらえるか？」など）。英語力以上に、まずは日本語で簡単な言葉にして、説明できる力が必要だと感じました。これは、子どもたちに対してもそうです。

今日、子どもたちの周りでも、大掃除やしめ飾りなど正月前後の伝統的な行事にふれる機会が少なくなっていると思います。また、正月を家族でゆっくりということも難しくなっているのかも知れません。しかし、正月行事には、豊穡を祈ったり、家族の健康を祈ったり、みんなの幸せを願ったりした行事や風習がたくさんあります。少しでも、伝統的な行事や地域行事にふれ合い、日本の伝統的な文化のよさを知る冬休みになって欲しいと思います。決して、テレビやゲーム漬けの休みにならないよう願っています。

# 川上っ子

平成30年 12月号

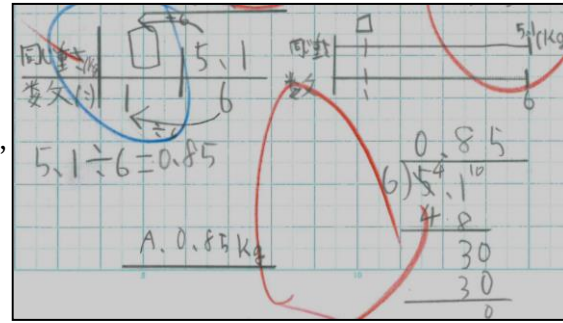
## 2学期の学校評価から

保護者の皆様よりいただいた学校評価の中で、特に顕著であった項目のみ紹介します（詳しくは本校HPをご覧ください）。

### 評価が上がっていた項目

#### ◎ ノート指導

職員研修のテーマは「算数科において、子どもが考えをもつためのアイテムである絵・図や表を活用させること、式や計算のあとを確実に残すようにさせること」です。その成果がノート指導に確実に表れています。本校の子どもたちのノートを見ると、その1時間でどんな思考の流れがあったのか一目瞭然です。



【子どものノートの一部】

#### ◎ 正しい言葉遣いでいじめのない楽しい生活ができている

全国人権週間に合わせ、12月8日（土）に言葉遣いについて考える集会を実施しました。集会では、J男が、友達が買ったばかりの漫画を自分に貸すように言ったところから始まりました。【健康・環境委員会の発表】  
N太：「ううん。いいよ。はい、どうぞ。」  
→正直な気持ちを言わず、その場を取り繕うストレス言葉  
S夫：「ふざけんな！貸すか！僕がまだ読んでないだろ。」  
→相手に不快な思いをさせる攻撃言葉  
S香：「いいよ。でも私が読みたくて買ったので、その後ね。」  
→相手も自分も納得するすっきり言葉  
委員会の子どもたちの発表後に、「子どもたちにある！ある！の場面を提示し、それがどんな言葉に当てはまるかを考え、自分に気持ちに正直になりつつ、相手の気持ちを考えた言葉を使うことの大切さを学習しました。このような日々の取組の成果が出ていると思われます。



### 評価に課題が見られる項目

#### △ ユーチューブ視聴（ゲーム等）と規則正しい生活

今やユーチューバーが職業として認知される時代ですから、ユーチューブには魅力的なコンテンツがたくさんあります。今流行の投稿動画を視聴した後に関連動画をタップすれば、そのまま引きずりこまれるよ



うに軽く1～2時間は視聴する子どもも少なくないそうです。この課題については本校児童にも当てはまるどころがあり、本校PTA活動の努力点にもなっています。

#### △ 家庭での音読・読書

家庭での毎日の音読の成果を発揮する場として、ヨメルンジャーを位置づけております。全ての教科の基礎となる読みの力を高めることをねらいとしていますので、ご家庭で子どもたちの音読を毎日見届けてください。

その他、若干評価の下がった項目もあります。保護者の皆様からいただいた評価を真摯に受け止め、さらに改善を加えて学校力アップにつなげていきます。貴重なご意見をありがとうございました。

## テレビ会議システムで4校交流授業

12月7日（金）に2年生国語科の授業で、旭小、荒川小、冠岳小の4校でテレビ会議システムを活用した交流授業を行いました。自分で考えた「あったらいいな！こんなもの」を他校の児童に説明したり、他校の児童の発表を聞いたり、ドキドキワクワクの1時間があっという間に過ぎました。

他の学校の友達がどんな発表をするのかワクワクしながら聞いていました。自分が発表するときも他の学校の友達がたくさんいたので、とてもきんちょうしました。次は、図工で工作を作って、自分の作品を紹介したいし、他の学校の友達が作った作品も見たいです。  
(2年 S・M)

今後もこのテレビ会議システムを使って、友達の多様な考えにふれたりする機会、たくさんの友達と折り合いを付けながら合計形成を図ったりする機会を増やしていきたいと思ひます。



《 1 月前半の主な行事予定 》

- 8日 (火) 始業式, 身体計測, 視力検査
- 9日 (水) 校内書初め展
- 10日 (木) 授業参観, 学級PTA, 教育相談
- 11日 (金) 幼小中合同家庭教育学級 (市来中)
- 13日 (日) イルミネーション撤去, 鬼火たき
- 16日 (水) 鹿児島学習定着度調査 (~17日, 5年生)
- 17日 (木) お話カンガルー
- 18日 (金) 移動図書
- 26日 (土) チャレンジ教室



《 おめでとう 》

- ◇ 「飲酒・喫煙・薬物乱用防止標語」  
入選 6年 F・M
- ◇ 「県児童生徒作文」コンクール  
入選 4年 F・M
- ◇ 「本も友だち読書感想文・感想画」コンクール  
感想画の部 本も友だち賞 5年 H・Y  
感想文の部 本も友だち賞 1年 T・S

全力を尽くした持久走大会

12月5日(水)に、校内持久走大会が行われました。子どもたちは、自分の目標に向かって一生懸命最後まで走りぬきました。今年は、4年生のU・Y君、H・Rさん、5年生H・Yさんが日頃の練習の成果を発揮することができたようで、新記録を出しました。おめでとうございます。

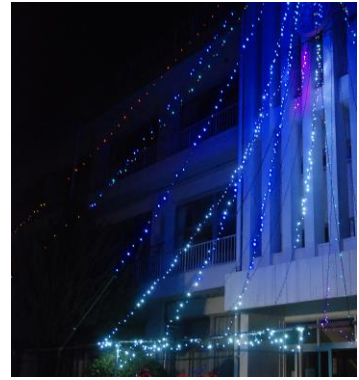
(1・2年 1000m, 3・4年 1500m, 5・6年 2000m)

- 4年生 U・Y君 6分25秒 (大会記録6分28秒)
- 4年生 H・Rさん 6分27秒 (大会記録7分4秒)
- 5年生 H・Yさん 9分15秒 (大会記録9分37秒)



イルミネーション点灯式

12月16日(日)に、イルミネーション点灯式がありました。あいにくの雨天でしたが、地域の皆様が設置作業を一生懸命してくださったり、PTAの保護者の皆様が愛情たっぷりの温かいうどんをふるまってくださったりしたおかげで、素敵な点灯式になりました。子どもたちのおごそかかつ、しっとりと聞かせる素敵なクリスマスソングの演奏や躍動感みなぎる元気な歌声で身も心も温かく感じることでした。



市女性連から図書代寄付金をいただきました

11月29日(木)に市女性連の皆様から善意バザーによる図書代寄付金をいただきました。準備から販売活動に至るまでたくさんのご苦労があったことと思います。いただいた寄付金は、子どもたちからリクエストされた本代としてありがたく使わせていただきます。本当にありがとうございました。



今、こんな授業をしています！

11月26日(月)に、4年生の算数科の研究授業を行いました。「小数のかけ算は習っていないけど、どうやったら解けるかな?」「僕は、小数に10倍して、出てきた答えを÷10するというやり方を考えたけど、友達はどうなやり方で解いたのかな?」「みんなのやり方に共通するのは、整数に直せば計算できるということだな。」など、子どもたち同士で楽しく学習していました。実は子どもたちのこの姿は、新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」のある授業そのものです。



【自分の考えを発表する児童】

【授業研究でさらに授業改善】

幼小中一貫教育公開研究会

12月11日(火)に市来中校区幼小中一貫教育公開研究会が行われました。4月から4校の職員が、各専門の教科部に属し、互いに情報交換を行いながら、研修を深めてきました。当日は、5・6年生が市来中に行き、5年生は外国語の授業、6年生は国語科の乗り入れ授業を受けました。



中学校の英語の先生の発音がとてもきれいで、英語をいかに楽しませるかを工夫していたのが伝わり、とても楽しかった。英語が少しくらい話せなくても、面白く会話しているうちにだんだんしゃべれるようになるのがすごいなと思った。中学校に行っても「英語が楽しい。」と思うだろうし、海外にも行ってみたいくなりました。(5年 Y・K君)

授業展開を計画する際に、中学校の先生からの専門的なアドバイスがあって、「なるほど。」と思えることが度々あった。教科分科会に限らず、中学校の先生方と会う機会が増えて、卒業生のことなどで情報交換を自然と行うようになってきた。(小学校 A教諭の感想より)

この幼小中一貫教育を通して、以下のような子どもの姿が見られるようになりました。

中学校の先生に名前を覚えてもらっていて、とても嬉しかった。早く中学校に行って、市来小の友達と一緒に勉強や部活をしたい。

合唱コンクールの中学生はとても上手だった。中学生のように上手に歌えるようになりたい。



国語の先生の説明が分かりやすかった。たくさん発表することができて、嬉しかった。

※詳しくは別紙公開研究会パンフレットをご覧ください。